

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2020年12月16日

都道府県知事
(市長) 殿

提出者

住所 ²⁻⁴⁶⁶¹⁻³ 大分県杵築市小香町大字野原 希地

氏名 北沢 勝実
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	北沢 牧場
事業場の所在地	大分県杵築市小香町大字野原 ²⁻⁴⁶⁶¹⁻³ 希地
計画期間	令和2年4月1日～令和2年8月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	経営 100 ふんすたん 育成 70
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	畜物のふん尿 1. 自ら堆肥化 2. 処理業者へ委託 畜物の死体 1. 処理業者へ委託

(日本工業規格 A列4番)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和2) 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排出量	2370 t	5 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排出量	2370 t	5 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,000 812 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,686 t	
	(今後実施する予定の取組) ・堆肥化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,000 t	
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和元 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の小便尿	動物の死体
	全処理委託量	1,558 t	5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,558 t	5 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛糞	動物の死体
	全処理委託量	684 t	5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	684 t	5 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			